いま話題の「日本語教育の参照枠」って何?

- ・実践とどうつながるの?
- ・目は通してみたけどよくわからない…。
- ・今、日本語教育や多文化共生の考え方ってどうなっているの?



回	日時	内容
第 回	IO月 I6日(月) I9:30~21:00	「日本語教育の参照枠」が考えることばの教育 〔研修 Can do〕「日本語教育の参照枠」の背景にある大切な考え方が わかる。
第2回	II 月 20 日 (月) I9:30~21:00	「日本語教育の参照枠」のしくみ [研修 Can do]「日本語教育の参照枠」がどのような枠組みであるか わかる。
第3回	I 2月 I8日(月) I9:30~2I:00	「日本語教育の参照枠」の活用のしかた 〔研修 Can do〕「日本語教育の参照枠」を活用した実践がイメージ できる。

【対 象】 愛媛県在住で下記に該当する方

- ・日本語教育に関わっている方
- ・多文化共生や国際交流活動に関わっている方 ※行政や企業などで活動している方も歓迎

【実施方法】オンライン (ZOOM 使用)

【定 員】50名

【申込方法】

○QR コードから申込む



https://forms.gle/QeDvBiXnRTZ5HxeaA

<講師メッセージ>

2021年に文化庁から「日本語教育の参照枠」が公開さ れて以降、その名を耳にする機会が増えましたが、「私 とは直接関係がなさそう」「難しそうでよく分からない」 と感じている方も少なくないようです。

ですが、この参照枠には、これからの日本語教育や多文 化共生社会を考えていく上で大切なことがたくさん記 されています。

まずはこの勉強会でその中身を「知る」ところから始め てみませんか?

【講師】奥村三菜子 氏

(NPO 法人 YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち 副理事長) <略歴>

1990年代から海外(中国、ドイツ等)の大学、市民講座、日本語補

習授業校などで日本語教育に携わる。 2013年から日本国内の大学、短大、専門学校等で留学生の日本語教育、日本語教師養成などを行っている。 これまでに日本語教師現職者研修やボランティア研修の講師を多数務

める。日本語教育関係者同士の学びの場づくりを目指し、NPOで活動

-¹022 年度から「愛媛県地域日本語教育体制づくり事業」において総 合調整会議委員を務めている。

専門は日本語教育、継承日本語教育。

出版物は『日本語教師のための CEFR』(くろしお出版,共編著)など。

○裏面「参加申込書」で申込む(メールもしくは FAX)

【乄切】令和5年 10 月6日(金)

主催:公益財団法人愛媛県国際交流協会(愛媛県地域日本語教育体制づくり事業)

<事前のお願い>

- ①原則として、勉強会中の Zoom は、ビデオ ON でご参加ください。 (ネット環境等の都合でやむを得ない場合は OFF でもかまいません。)
- ②各回、簡単なグループセッションがあります。原則、ビデオ ON でご参加ください。
- ③原則として、3回全てにご参加ください。やむを得ず欠席した場合は、録画動画をご覧の上、次の回にご参加願います。(第 1 回→2 回→3 回と、内容がつながっています。) (なお、**動画は参加申し込み者への非公開配信**です。参加者以外への供覧は固くお断りします)

参 加 申 込 書

お名前			
メールアドレス			
参加日 ※該当するもの全てに図をして下さい。 (原則、3回全てにご参加ください。)	□ 第 回 (令和5年 0 月 6 日) □ 第 2 回 (令和5年 1 月 20 日) □ 第 3 回 (令和5年 2 月 8 日)		
居住地域 ※該当するものに☑をして下さい。	□ 東予 □ 中予 □ 南予 □ その他()		
属性をおしえてください ※該当するもの全てに図をして下さい。			
日本語教育に携わったことがある方			
【活動経験】 □ 日本語教師(フリーランス含む) □ 日本語教育の支援者(ボランティア含む) □ 日本語学校/大学 □ 小・中学校の日本語支援員			
□ 多文化共生の活動をしている・興味がある			
□ 国際交流の活動をしている・興味がある			
□ その他:			
今後、愛媛県国際交流協会が発信する地域日本語学習についてのメール受信を希望しますか? ※該当するものに図をして下さい。	□ 希望する□ 希望しない		

申込先:愛媛県国際交流協会(〒790-0844 松山市道後一万1-1)

TEL: 089-917-5678/FAX: 089-917-5670/E-mail: ehime.epic@gmail.com